

情報通信研究機構（NII）は10日、太陽の表面で爆発現象が起こる大規模な「太陽フレア」が連続して発生したと発表した。爆発の影響で宇宙にある人工衛星との通信に障害が起きたり、全地球測位システム（GPS）の誤差が大きくなったりする可能性がある。今後数日はさらに太陽フレアの発生が考えられるとして、注意を呼びかけている。

太陽フレアは太陽の表面で起きる爆発現象で、宇宙空間に様々な波長の電磁波

## 太陽フレア 連続発生

### GPSに誤差拡大の恐れ

を放出する。電磁波は地球に届くと、地球の大気圏上層にある電離圏に影響を与える。電離圏にある酸素や窒素などの原子から電子を引きはがす「光電離」と呼ぶ現象を引き起こす。



強い太陽フレアが発生した太陽。複数の波長で捉えた画像を合成した（米国9日）| NASA / SDO提供

光電離が起きると、GPSなどの人工衛星との通信に障害が発生することもある。電離圏にある電子の密度が異常に高まり、地球と宇宙空間の通信の邪魔をするためだ。2017年に発生した太陽フレアでは、GPSによる測位に通常の3倍の誤差が生じたと国土院が分析している。衛星を介した放送や通信にも影響が及ぶ恐れがある。